



深川社協だより

# ふかわ

第47号

2016.9.01

■ 編集発行 深川地区社会福祉協議会広報部会 ■ 発行人 向井文武



【平和のお話会】 深川保育園では、平和について考える取り組みをしています。その一環として8月4日に地域の民生委員、福祉委員の協力によって平和についてのお話会が実施されました。  
(2ページに関連記事を掲載しております)



この目的を達成するにあたり、  
【2ページに続く】

●今年度の深川地区社協の取組み  
今日の社会を取り巻く福祉環境は、大きく変貌し、高齢化社会の到来(四人に一人は認知症)と報じられています。又、人と人との繋がりの希薄化により孤立者の増加や自宅介護の困難等で、助け合い支え合いの福祉活動がより必要となります。地域の住民誰もが心身ともにすこやかで、住んでよかつたといえる深川のまちをめざしています。

にさせていただきます。

お預かりした義援金は、安佐北区社協を通じて広島市中央協同募金会へお届けいたしました。被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げ、お礼とご報告

物と存じます。

●熊本地震災害復興義援金募集についての御礼と報告  
去る四月十四日熊本県地方を震源とする甚大な地震が発生し多くの方々が災害に遭われ、深川地区社協・自治会連合会において災害復興義援金募金をお願いいたしましたところ、百四十一万八千円もの義援金が寄せられました。

これもひとえに皆様の助け合いと温かい支援の気持ちの賜物と存じます。

残暑お見舞い申し上げます。  
今年の夏も猛暑続きでしたが、お元気に猛暑を乗り切られましたことをお慶び申し上げます。

皆様には常日頃より地域福祉活動には温かいご理解とご努力を賜わっていますことを感謝申し上げます。



深川地区社会福祉協議会

会長 向井文武

- 一、いきいきサロンの充実（認知症予防に重点）
  - 元気な高齢者づくり
  - 誰でも気さくに話し合える場づくり
  - あなたが持っている経験や知識を活かす場づくり

二、安心ネットづくり

○住民同士が温かい目で見守り、生活機能の低下した人を早期発見

三、在宅介護者への支援活動

○地域包括支援センターなど関係機関との連携

四、ボランティアバンクの活動推進

○暮しに困っている人への支援

以上の四点を重点として、安心して住み暮らせる深川のまちづくりにご協力をお願いいたします。

高陽公民館 地域町づくり講演会

『人が輝けば地域が輝く』を聞いて

深川女性会会長 中川英子

三月十三日(日) 大竹市玖波公民館々長の河内ひとみ様をお招きし「人が輝けば地域が輝く」学びのカフェ物語と題して講演をいただきました。河内さんは、広島県から県教育奨励賞を、又、全国公民館活動の文部科学省表彰で輝やかなしい賞を受けられました。現在は地域連携や国際交流をテーマに広島大学客員研究員も務めておられ玖波公民館を一人で切り盛りされています。

公民館は心の拠点、心のよりどころであるべきと考えられました。そこで地域には色々な人材が埋もれており、人を含めた地域資源を掘り起こすのが私たちの仕事だと話されます。まず、焦らず何年かかけて住民同士のヨコの繋がりをつくろうと、土台を築いてから地域の課題に手を付けてこられたそうです。

近年の少子高齢化にともない地域住民の繋がりが薄いなど多くの課題がある中、イメージアップを図るため「おしゃれな学びの空間」を創るための事業「学びのカフェ」をスタートされたそうです。

学ぶことで一人ひとりが輝き、家庭や地域が変わっていくことが大事だとの思いが原動力となり公民館講座を「学びのカフェ」と銘打って運営されておられます。河内さんの力強い発進力には感銘を受けました。今回の講演は狩留家地区、小河原上深川地区、深川地区の社協の共催で行いました。三地区からの参加者は百四十名でした。当日は早朝より準備等々に沢山の方にお手伝いを頂き感謝申し上げます。



『平和のお話会』について

深川保育園園長 田中淳子

深川保育園では、この時期、平和について考える取組みをしています。その一環として8月4日に地域の民生委員、福祉委員の方々にお願いして平和についてお話をさせていただきました。『かわいそうな象』の紙芝居を食い入るよう見た後、「ぞうがかわいぞう」「戦争がいけん」と感じたことや思ったことを表現する年長児。折り鶴の折り方を習いながら、地域の方々とおしゃべりを楽しむ年中児。一緒に遊んでもらい、幸せをかみしめるように地域の方々にも身をゆだねる年少児。一〜二歳の幼い子たちも地域の方々の温かい眼差しを受けながら小麦粉粘土を楽しみました。

どの年齢の子ども達も見守られてるといふ安心感の中、優しく穏やかな気持ちに浸り、とても有意義な時間を過ごすことができました。

収入の部

○繰越金	1,129,497
○会費収入	
自治会町内会連合会より	100,000
○助成金収入	
地区社協運営費	60,000
共同募金実績割金	188,840
福祉の町づくり総合推進事業	165,000
○寄付金収入	600,000
○負担金収入（敬老会参加者）	100,000
○雑収入（預金利息）	300
収入合計	2,343,637

支出の部

○会費（区社協会費）	94,898
○事務費	105,000
○会議費	15,000
○広報費	100,000
○福祉事業費	
1) 福祉のまちづくり総合推進費	350,000
2) 区社協自主事業費	830,000
○助成金	150,000
（女性会・福寿会・青少協・体協・子供会）	
○予備費	698,739
支出合計	2,343,637

平成二十八年度予算  
深川地区社会福祉協議会

# 深川の人を

## たずねて



### 我が人生に思う

實升義昭 (深川2丁目)

(昭和2年5月生まれ)

私は昭和47年4月に千代田町から尾和に移住し現在まで43年間、当地で生活しております。叔母が尾和に住んでおりましたので小学校の夏休みや村祭りにたびたび遊びに来ていました。

昭和47年7月移住まもなく大洪水が発生し三篠川の堤防が未完成であったため、床上80cm浸水し地元消防団による川舟で2階から避難することができました。当時は井戸ポンプ、冷蔵庫、電化製品等は水洗いし乾燥して再使用することができました。また自動車も簡単な整備で乗ることができました。

小学校は昭和18年に国民学校に名称が変わり卒業後は農学校に進学しました。入学一年間は通常の授業を受けました。当時学校には一学級生徒数60人で38式歩兵銃が配備されており一年生から軍人訓練を受けました。戦局が厳しくなった昭和18年8月には広島県下の農学校生徒を対象に北海道へ12両編成の特別列車で約2ヶ月間水田の除草及び大豆の除草の農作業等に従事する日々でした。

昭和19年9月、18歳で海軍飛行予科練習生として、松山海軍航空隊に入隊し、厳しい教育や訓練に明け暮れました。

昭和20年5月、B29による爆撃で兵舎は破壊され訓練の機能を失ったため陸戦隊に編成されました。一方、ほとんどの隊員は本土決戦の配備として四国南端に移動となりました。このため私は宇和島の山間部の集落の公民館で10名程度の要員で

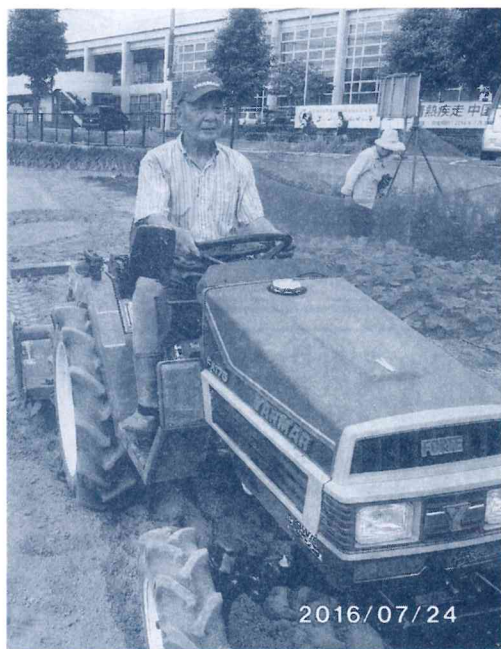
鉄パイプを切断して手榴弾を作製していました。

昭和20年8月、終戦と同時に復員し、昭和21年4月、農林省広島食糧事務所採用されました。当時は、戦後の食糧不足が深刻な社会問題となり、国民に公平に食糧を配布することを目的として、食糧管理制度業務に従事してきました。勤務先は旧高田郡、山県郡、安佐郡、比婆郡、賀茂郡等であり、多くの農家を回りました。42年間勤務し、昭和63年に定年退職しました。

私は元々農家育ちであり、尾和は太田川、根の谷川、三篠川の合流地で、度重なる洪水により砂壤土が蓄積した耕地で、このため根菜類の育成に適地で牛蒡、長芋、大根など良質なものが生産できました。

退職後28年間、夫婦で健康で楽しく農業を続けて現在に至っております。

最近は何れも年齢を重ねるに従い仕事の能率も徐々に低下しております。このため労働時間も減少しつつ余生を楽しむ過ごしたいと考えております。



今回は尾和にお住まいの實升義昭さんをご紹介いたします。インタビュをさせていただこうと、お家を訪問しましたところ自分で文章を書いてみました。う、とおっしゃっていただきました。尾和にいられて40数年、毎日お元気で畑仕事に精を出しておられます。

取材担当 佐藤 清 (深川2丁目)

## 愛のともじび

深川地区社会福祉協議会に対し、福祉事業の活動にお役立て下さいと、次の方々から香典返しのご厚志をお寄せいただきました。

皆様の善意に厚くお礼申し上げます。

(平成二十八年一月〜七月)

- 沖 剛 深川三丁目
- 小田篤生 深川七丁目
- 浜本時子 深川三丁目
- 橋本邦夫 深川五丁目
- 高下澄雄 深川三丁目
- 佐久間シオリ 深川五丁目
- 多川幸子 深川五丁目
- 大番隆登 深川一丁目
- 近藤昭登 深川八丁目
- 向井 均・文武 深川八丁目

【受付順・敬称略】

### 深川地区社協役員人事のお知らせ

(平成二十八年四月)

#### 新任理事の皆さん

- 理事 山口昌利 院内自治会会長
- 理事 田中雅彦 深川小学校PTA会長
- 理事 世羅 綾 子供会育成会会長
- 理事 岡部俊子 中郷地区福祉委員

【順不同・敬称略】

なお、この度退任されました皆様には長い間ご苦勞様でございました。今後とも社協の活動にご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております！

地区	対象者数		
	男性	女性	計
陰地	30	37	67
奥迫	12	16	28
高陽荘	1	27	28
中郷	70	95	165
深川台	27	34	61
西塚	49	59	108
院内	40	64	104
上庄	36	67	103
下庄	38	60	98
尾和	64	77	141
総合計	367	536	903



■招待者の基準は昭和17年3月31日までに生まれた方としております。ご了承ください。

**記**

**日時 9月19日(敬老の日)**  
**午前11時より**

**会場 高陽公民館**  
**2階ホール**

**会費 500円**

■館内にはエレベーターがあります。ご利用ください。

深川地区社会福祉協議会  
事務局長 清水宏輔

「敬老会」のお知らせ

深川地区社会福祉協議会では、地区内に居住される75歳以上の方をお招きして、今年も「敬老会」を開催いたします。最初に恒例の「式典」が行われます。続いてアトラクションに入り深川小6年生や高陽中吹奏楽部の皆さんによる元気いっぱい発の発表があり、場内は徐々に興奮に包まれ、そして各地区女性会の出演となります。出し物は女性会が趣向を凝らしたもので、お弁当を召し上がりながら楽しいひと時を過ごしていただきますよう、ご案内いたします。



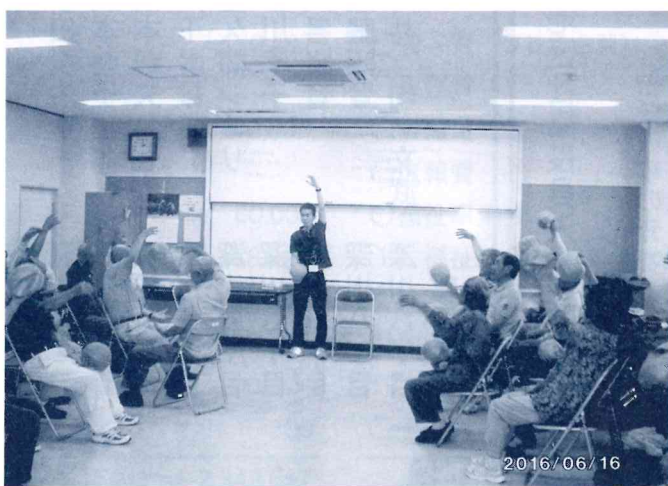
みつば会(西塚・中郷・院内)

ガンバルーンボールで  
心身ともにリフレッシュ  
民生委員児童委員 久都内キミエ

6月16日(木)「みつば会」は、地域包括支援センターの職員の方2名をお招きして、介護予防を目的としてガンバルーンボールを使った色々な運動を指導していただきました。ボールを持った手を高く上げ、反対の手にボールを落としキャッチするので(写真)なかなかうまくキャッチできません。何度か繰り返すとキャッチできると燃え尽きたように安堵されていました。指先の運動で認知症予防のトレーニングになるそうです。

次にオレンジ・ピンク・グリーンの3色のボールで、三班に分かれて九つの箱の中に一人一球投げ入れるピングゲームの競技です。真剣な顔つきでウォーミングアップ。たて、よこ、ななめに同じ色のボールが入ると「ピングー!」……大歓声です。「あー楽しかった」と笑顔で、心身ともにリフレッシュされ、楽しいひとときを過ごしました。

毎月一回のいきいきサロン「みつば会」は、皆様のいきいこの場として地域の絆をより一層深めていきたいと思っております。



深川地区には「みささの会」「みつば会」「あんびんの会」の三つのサロンがございます。各サロンでは皆様のご参加をお待ちしております。詳しくは各地区の自治会長・民生委員・福祉委員までご連絡なくお問い合わせください。

【深川地区社会福祉協議会】